

小谷村観光未来づくり協議会 顛末

令和 7 年 12 月 23 日 (火)

午前 10 時 00 分から

小谷村役場 101 会議室

1. 開 会 9 : 5 8

2. 村長あいさつ 中村村長

冬季を迎え観光の大切な時期になるが雪が不足しており心配している。

事務局から説明あるが観光ビジョンについて話しを進めていきたい、会議の中で委員の皆さんからご意見いただきたい。

※前回キックオフ的にスタート 実質 1 回目会議のようなイメージ 会長を互選としてあるが本日はそこまで決めず担当課から「こういう進め方でどうか」といった話をしたい 進行は村長にお願いしたい

3. 議 題

(1) 観光未来ビジョンの作成に

事務局

- ・前回の意見にもあったが観光未来ビジョンが必要ではないか
- ・資料はイメージとしてこういう計画を作れたらよいのでは
- ・前回出していた意見 (別紙)
- ・これまでのプラットフォームも踏襲する
- ・これらをまとめてみラオ方向性とできればよいのではないかと考える
- ・山ノ内、白馬のようなビジョン (資料は一部分) で出来れば良いのではないか
- ・どの程度のものをどうつくるか 最終的にはビジョンを策定していけたらと思っている
- ・作りたいイメージの説明になったがみなさんいかがか 白馬 山ノ内のイメージを参考に

A

- ・白馬の策定に関わっている 小谷にはこうしたビジョンないことがムズかゆかった
イメージでふわっと終わらない方がよい 経営ビジョン 戦略ビジョン とか具体定期に極力落とせるほうが良い
村として観光の重要性を村民がどのくらい理解しそこにお金をどれだけ突っ込めるかを考えていかなければならない。
- ・村が観光にどれだけ力を入れて、村民に話せるだけの内容になればよい そこまで作りこんでこそ意味がある 小谷らしく作れたらよいのでは

B

データも持ってゴールはどこか 未来の策定が最重要なのか 宿泊税が最重要が MIX が最重要か という点もコミットしてほしい

C

策定は重要 ターゲットを絞ってどこまで何を誰をどのくらい呼ぶかまで具体的に策定してほしい

D

今日の会議 ビジョン策定まで書いていただいて良かった 感謝
最終的ゴールは小谷の第6次計画と一緒にと思うがその要素を取り組むよう進めて
短期、中期、長期 と作ればありがたい
人口減を食い止める観光ビジネス、働く場所の確保 村内で雇用できるまで確保してほしい 冬は強いが夏は弱い 冬は200人程度働く人で人口が増える
冬働く人が夏も働ける 夏も小谷にいられる(稗田山など) NHKドキュメンタリーで小谷村題材 これが再放送、再々まで3回 都会で疲れた女子が相沢荘で復活したことがヒントでは 夏の観光も盛り込んでほしい (株)小谷村くらいな気持ちでキーは観光持続可能な小谷村 十分楽しんで暮らせる、その中に観光がある そんなつくりを

E

この形は大変良い 盛り込んでほしいのは大正4年中土村2,400人 今小谷が2,600人 100年農業林業含んで先を見据えた内容 同時に具体的な計画を並行で 実効的な内容をまとめてほしい ふわっとしたものではなく

F

柴田さん、和田さんのいうとおり 6次計画のほか10年20年30年見据えた計画が大事

G

J Aからいうと金融から役に立てることは限られるが索道、営業、と携わる中で先を見据えて人口を維持することが大事 結局観光と両立できないといけない 皆が小谷に残るような向かうべき方向を見据えてほしい

事務局

補助金を考えていたがこのビジョンの中で盛り込んでいく方向？

A

通常は計画に位置付けたものに出すのが良いのでは

- ・元気づくり支援金みたいなイメージ
- ・テーマを絞って 小谷はいまここを狙う そこへ費用をかけていく 財源はどうするか
- ・体制として観光連盟が当てはまっているか なども議論出来たら

村長

大いに取り入れたい KPIを取り入れたり

D

(資料をみながら) 中身が書いてない 「こんな案を作りました」を作してほしい ここで決めていくのではなく村で作ってご意見いただく進め方
その中でこういうの付けて 削って 現実的にこうしようと思う そんなたたき台を村で出してほしい この会議で作るのは無理

事務局

資料はざっくり こんな感じのものが作れたらいいかとおもってイメージでつけた中身を作るのはプラットフォームも踏襲して作りたいが最後はコンサルにお願いしたりしたい考え 当初予算に盛り込んでいきたい
今井さんが言うようある程度作って会議にかけたい

A

白馬も外注で作って村で議論するようなやり方

D

外部委託もあり しょうがない 色々な会社も含めて話してみしてほしい

事務局

地元精通したところと相談したい

E

地域公社も組み込んでいただけたら

項目立ては作りこむ 意見をもらってコンサルで作る感じ

事務局

作成は作って行く 当初予算にもって進めていく

こういうやり方で着手していくことでよろしく願いたい

(2) 宿泊税の活用について

事務局

1/6 重点交付金 2 年基金可 3 年目に執行する残は県へ返還

- ・ 信州 DC キャンペーンに向けた受入事業 前回 DC 誘客促進に 3 億ほど
- ・ このキャンペーンが重点項目に小谷村としてどう関わるか が宿泊税の用途に関係するのでこの会で方向性を話し合っしてほしいと考えている。
- ・ みなさんのご意見聞きながら申請できる段階から進めていきたい

村長

使途がハッキリしていないところだが みなさんからの意見いかが どんなところに使っていくか を示してほしい

副村長

県は令和 8 年 6 月から徴収 → 多分補正 しかし最初から案がないと手上げ出来ないなので計画を進めることは大切

- ・ 仮に税額 300 円で 33 億 最初は 200 円なので 22 億を県下で分ける 1/3 を宿泊者数（これも不明確）で一般交付金で分ける 1/6 を重点交付金 多くて数千万のイメージ 億単位にはならなそうだ 滞在型観光客が増えるような計画（6 次計画）づくりが必要
- ・ 具体的に何を充てるかは現場の皆さんが日ごろから感じているところで充てたいところ

A

まさに戦略を持っていないといけない そういうところも示した方が良いのでは

村長

スキー産業ならどういう意向ある？

A

さっきの計画 戦略に盛り込んでいく話では その中でそれぞれスキー場がこれからどれだけ必要か を盛り込んでよいと思う

- ・観光利益総額の何%を充てるのか という計画を戦略に盛り込めばよい話では
- ・ハードで使うには足りない金額だが 街並み、道、索道インフラ これは白馬も一緒に全国的課題か 白馬だと数億の試算 小谷は独自財源で考えないか？という考えも出てくる可能性もある
- ・まだ使途が明確ではないので今の段階で具体的案は難しい 基金可ならR8は無理に使わず計画に充てる方向が良いのではないか

村長

- ・村も道路整備などは宿泊税とは別で考えたい
- ・宿泊税は一般財源に含まれてはいけない そこは線を引くべき 将来の観光で稼ぐための計画であるべき

B

会議体になると本音が出ない 弱点をしっかりと見据えて議論してほしい 総合的に考えてほしい DCDCというが 自然園に絞らず小谷全体でとか考えたら

D

昨年度白馬200万 小谷100万の観光客 白馬が課題抱えていることは小谷にもある話 ごみ問題すらどうするのか 観光庁4000万を6000万 1.5倍に そうなると小谷150万 ごみ処理費用も掛かってくる どうするのか 問題が出てくる 白馬の事例を良い意味で参考に対応を作る必要あり 白馬の観光ビジョンにも出てくる「世界水準のオールシーズン型」、小谷も「オールシーズン型」を忘れずに

A

規制もそろえる必要ある 駐車場が足りない 外資規制(売買規制) 一方で現行の開発指導要綱では2000㎡で協議対象 これでは良いものを呼べないことに、メリハリのある開発規制が必要ではないか。現在の開発指導要綱は、過去の「日本人」によることだけを考えた内容であり「外国人」対応も考えていかなければならない。

白馬は・従業員の住宅を考えない・二次交通を考えない店舗開発 この辺の見直しも必要なステージ どういう村どういう観光地を目指すのが重要 白馬は独自宿泊財源でごみ処理 規制と開発を同時に考えるフェーズにきている

C

コルチナとしては施設が古くなりリノベに使いたい 戦略に基づいた計画、使途が重要 小谷にお客様が来ないと意味がない オールシーズンリゾート 従業員の宿泊がないなど人が来ることで起きる課題 夏は働く人もいない 観光客もいない 年間通して働けることが重要 オールシーズンは重要視

村長

開発協同組合も立ち上げているが力入れたいと感じた 忙しい方に頻繁に会議をお願いしたい Web でも良いので

→ 村からの「これに対して意見ほしい」　みたいなのをメールで送るとかも考える

(3) その他

コンサルなどに依頼し　その都度お示ししていきたい

・コンサルに限らず良いところあればそこも考えて

4. 閉会